

<取材のお願い>

2024年1月22日

山梨大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

バンングラデシュの学生が山梨大学で次世代高速無線・光通信技術を学ぶ ～より信頼性と安全性の高い高速通信ネットワークの実現を目指して～

山梨大学では、1月28日（日）～2月3日（土）、バンングラデシュのクルナ大学より大学生2名、大学院生7名、教員1名、計10名を甲府キャンパスに招へいし、「次世代無線・光通信システムによる高速データ転送」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。

2009年、バンングラデシュ政府は2021年までに中所得国になることを目標とする「ビジョン2021」政策を発表し、その中で掲げたスローガン「デジタル・バンングラデシュ」で全国民へのICT（情報通信技術）普及を目指すなど、ICTの促進に力を入れています。さらに、教育にも注力し、優秀なITエンジニアが世界で活躍しています。しかし、バンングラデシュ国内の高速通信ネットワークは、まだ導入段階にあります。

本プログラムは「次世代無線・光通信システムによる高速データ転送」をテーマに、日本の高速無線・光通信技術を学び、次世代の無線・光通信システムに関する最先端の知見を共有し、日本とバンングラデシュにおいて、より信頼性と安全性の高い高速通信ネットワークを実現することを目的としています。

具体的には、バンングラデシュの学生らが自国の無線・光通信技術の現状について発表し、山梨大学の学生と意見交換します。さらに、ワークショップで高速データ転送のための水中光無線ネットワーク、セキュリティ上の課題、通信技術におけるAI（人工知能）の応用、「第4次・第5次産業革命以降を支える今後の通信技術動向」等について両大学の学生が議論します。また、山梨県内の製造工場でエンジニアリングに関する生産プロセスを体験するほか、山梨県富士山科学研究所（山梨県富士吉田市）で、災害時の通信環境確保についての勉強会を行う機会も設けました。

本プログラムにより、バンングラデシュの学生らが日本の高速無線・光通信技術を学ぶだけでなく、本学の学生がバンングラデシュのような発展途上国で必要とされる通信技術とは何か、を知ることで、途上国における通信技術のアップグレードや技術障壁の軽減に貢献できると思います。さらに、両大学の学生、研究者、教職員が交流することで、お互いの人材育成に重要な役割を果たすことが期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交

流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい者と本学の学生がワークショップを行う様子、工場や研究所を見学する様子、意見交換会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の埜 雅典教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●ワークショップ「高速データ転送のための次世代無線・光通信システム」
●研究室訪問 ●工場見学 ●災害時の通信環境確保についての勉強会
●意見交換会 ●風穴洞と博物館見学 ●新旧日本文化体験および見学

【実施場所】 山梨大学甲府キャンパス、株式会社ミラプロ山梨工場（山梨県北杜市）、東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)藤井事業所（同県韮崎市）、山梨県富士山科学研究所

【研修日程概要】

1月28日(日)	午後：来日、山梨へ移動
1月29日(月)	午前：オリエンテーション、大学紹介、プログラム内容紹介（山梨大学甲府キャンパス） 午後：高速データ転送のための次世代無線・光通信システムワークショップ(1)、意見交換会（同上）
1月30日(火)	午前：研究室訪問（電気電子工学科研究室など）（山梨大学甲府キャンパス） 午後：高速データ転送のための次世代無線・光通信システムワークショップ(2)（同上）
1月31日(水)	午前：ミラプロ山梨工場見学 午後：東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)藤井事業所見学
2月1日(木)	午前：山梨県富士山科学研究所で、見学と災害時の通信環境確保についての勉強会 午後：なるさわ富士山博物館、風穴洞見学
2月2日(金)	終日：新旧日本文化体験および見学（東京都内：明治神宮、上野）
2月3日(土)	離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

山梨大学 教学支援部グローバル推進課
(担当：酒井)

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form (担当：田中(禎)、太田)